

## 第 40 回 地域施設計画研究シンポジウム

### 「研究論文および設計・計画事例」発表募集

地域施設計画研究の推進、水準向上を目指すとともに、従来の蓄積を系統的に集成し、地域施設の計画策定に有効な計画理念、計画条件の解明・提示を行うためのシンポジウムです。計画への有用性を結論または内容に含む論文を募集します。研究の発展に役立つ建設的な査読とシンポジウムにおける発表・質疑討論によって、個々の研究の完成度を高め、論文集・技術報告集等の論文採用に繋げることで、ひいては本分野の研究振興と水準向上をはかります。

【注】：申込に電子投稿を採用しています。応募の際には下線部に留意してください。

なお、第 39 回から「地域施設計画研究」を完全電子化し、冊子体・別刷を廃止しています。また、第 40 回から設計・計画事例部門の頁数上限を研究部門と同じ 10 頁に拡大します。また、著者および運営者の同意と許諾が得られた事例について、事例の概要および論文を日本建築学会社会ニーズに対応した特別調査委員会「福祉起点型共生コミュニティと新しい地域拠点計画のあり方検討特別調査委員会」の成果として公開されている PROJECTS' CATA-LOG (<https://pjcatalog.jp>) に掲載します。

<主催> 建築計画委員会 施設計画運営委員会 地域施設計画小委員会

**発表期日**—2022 年 7 月 21 日（木）・22 日（金）

採用された研究論文および設計・計画事例の発表を行う。本会会議室での開催を予定しているが、オンライン開催への変更やオンラインの併用もあり得る。

● **研究部門**—以下のいずれかの条件に従った地域施設計画に有効な結論を明記した研究論文の発表。

- 1) 新しい課題として計画上有効な知見を得たもの（事例研究を含む）で、原則として未発表のもの。
- 2) 大会学術講演会等に口頭で発表したもので、何編かをまとめて一連の研究とし、一応のまとまりのあるもの。

**申込要領**—2022 年 1 月 11 日（火）までに、あらかじめ下記の事項を明記（形式自由）した「研究概要」を 電子投稿（①～④まで）にて提出する。なお、電子投稿の際の件名は“第 40 回地域シンポ申込”とする。

①研究題目、②著者および勤務先（連名の場合は発表者に○印を付す（発表者は本会個人会員に限る）、③連絡先住所・電子メールアドレス、④研究概要：目的・方法・結論を明記した 2,000 字程度（400 字詰原稿用紙 5 枚程度で図表を含めてよい）のもの。ただし、この「研究概要」は、既発表の大会学術講演梗概集の別刷その他の報告書等の PDF に、300 字程度の目的・方法・結論を明記したものでかえることができる。この時、PDF にはセキュリティがかかっていないこと（大会梗概集の PDF にはセキュリティが設定されています）。投稿受付は電子メールにて通知する。

**発表の採否**—地域施設計画小委員会において申込時の「研究概要」により採否を決定し、2022 年 1 月 21 日（金）頃までに本人にメールにて通知する。

「研究概要」採用決定者の「研究論文」原稿は 2022 年 3 月 7 日（月）までに、申込時と同様に ①～③と「研究論文」原稿を電子投稿により提出する。「研究論文」原稿は 8MB 未満の PDF ファイルで提出すること。提出された「研究論文」は匿名査読者 2 名による査読を行い、「研究論文」の採用・再提出・不採用の決定をし、本人にメールにて通知する。再提出の場合は、所定の期間内で指摘された内容を修正し、提出された「研究論文」を再査読のうえで採用または不採用を決定し、本人にメールにて通知する。

**原稿作成要領**—所定の執筆要領（「研究概要」の審査結果通知時にメールに添付する）に従い、ワープロ等により作成する。1 題当たり 6 頁以上 10 頁以内とし、偶数頁にまとめる。

●**設計・計画事例部門**—以下のいずれかの条件に従った地域施設設計・計画事例の発表。

- 1) 地域の住環境整備、町づくり計画に貢献した地域施設の設計事例
- 2) 新しい地域施設の設計・計画提案（設置体系、複合化計画等）

\*PROJECTS' CATA-LOG (<https://pjcatalog.jp>)は、「広義の福祉機能（医療・福祉・教育・居住・コミュニティ等）が起点となる多様な共生コミュニティの事例とその拠点、またそうした活動を紹介するため、建築・施設の種別にとらわれない、様々なProjectsを集め」たサイトです。現在は、前述特別調査委員会の委員長であった山田あすか（東京電機大学）の研究室が事務局として運営を行っています。サイトポリシー、著作権など、詳しくは「このサイトについて (<https://pjcatalog.jp/about>)」をご確認ください。

**申込要領**—2022年1月11日（火）までに、あらかじめ下記の事項を明記（形式自由）した「設計・計画事例概要」を 電子投稿（①～④まで）により提出する。なお、電子投稿の際の件名は“第40回地域シンポ申込”とする。

①設計・計画題目、②設計・計画者および勤務先（連名の場合は発表者に○印を付す。発表者は本会個人会員に限る）、③連絡先住所・電子メールアドレス、④設計・計画概要：設計・計画要旨 800字程度、施設規模、所在地、運営者、敷地規模、建築面積、延床面積、構造、主な平面図、写真等、設計・計画全体がわかるもの（設計図、基本計画図等、既存のものでよい）。投稿受付は電子メールにて通知する。

**発表の採否**—地域施設計画小委員会において申込時の「設計・計画事例概要」により採否を決定し、2022年1月21日（金）頃までに本人にメールにて通知する。

「設計・計画事例概要」採用決定者の「設計・計画事例」原稿は2022年3月7日（月）までに申込時と同様に①～③と「設計・計画事例」原稿を電子投稿により提出する。「設計・計画事例」原稿は8MB未満のPDFファイルで提出すること。提出された「設計・計画事例」は匿名査読者2名による査読を行い、「設計・計画事例」の採用・再提出・不採用の決定をし、本人にメールにて通知する。再提出の場合は、所定の期間内で指摘された内容を修正し、提出された「設計・計画事例」を再査読のうえで採用または不採用を決定し、本人にメールにて通知する。

**原稿作成要領**—所定の執筆要領（「設計・計画事例概要」の審査結果通知時にメールに添付する）に従い、ワープロ等により作成する。1題当たり4頁以上10頁以内とし、偶数頁にまとめる。

**投稿・掲載料**—採用が認められた場合、下記の投稿・掲載料を負担する。代金は別途送付の請求書により振り込むものとします。

6頁まで 18,000円、7頁以降 24,000円

掲載誌「地域施設計画研究」は39号から完全電子化しています。以降の掲載誌は学会ホームページ内で刊行1年後を目処に無料公開する予定です。

**著作権**—著者は掲載された「研究」「設計・計画事例」の著作権の使用を本会に委託する。ただし、本会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。著者が自分の論文を自らの用途のために使用することについての制限はない。編集出版権は、本会に帰属する。

他誌や書籍に掲載されている図表や写真等を使用する場合、著者の責任においてしかるべき手続きを必ず行い、必要に応じて原稿本文中に引用・転載の旨を記載する。

**審査**—著者にはピア・レビューアとして1～2編の匿名査読をお願いすることがあります。査読期間は2022年3月10日頃～24日（木）、査読担当論文が再提出となった場合の再査読期間は5月中下旬の2週間です。

**電子投稿・問合せ先**—事務局研究事業G 及川

E-mail : [j230@aij.or.jp](mailto:j230@aij.or.jp) TEL : 03-3456-2057 FAX : 03-3456-2058